

名勝及び天然記念物「長瀬」指定100周年記念事業について

加藤 浩一

荒川沿いの旧親鼻橋から旧高砂橋付近に至る約3.5 kmの長瀬溪谷は、1924年に国の名勝及び天然記念物に指定され、昨年12月9日で100周年を迎えました。自然の博物館では、これにあわせて企画展「長瀬自然遊覧」を実施して長瀬の自然の魅力を紹介するとともに、『名勝及び天然記念物「長瀬」指定100周年記念事業実行委員会』（以下実行委員会）の構成員として町や商工・観光団体とともに4月頃からさまざまなイベントを展開し、長瀬の魅力をPRしました。

1. 名勝及び天然記念物「長瀬」指定100周年記念式典

12月7日（土）に旧長瀬第二小学校体育館で開催されました。当館の井上素子学芸主幹や秩父まるごとジオパーク推進協議会の吉田健一氏等がトークセッションを行い、それぞれの角度から長瀬の魅力を語りました。このほか、長瀬を題材とした小中学生による絵画コンテストの表彰式や、長瀬町に関係のある音楽家の演奏等が行われ、町民など150人が参加しました。

2. ながとろ水まつり

9月15日（日）に長瀬地区公園（はつらつパーク）で開催されました。川と関係が深い長瀬町で、楽しみながら水と親しみつつ歴史等を体験・学習できるイベントで、瀬場を模したプールの上で水上ボールから水中に置かれた岩石を観察したり、かつて存在した金石の渡しを模した繰り舟の体験等が出展されました。当館は、長瀬町教育委員会と共催で学習ブース、『とろにゃんと一緒に「長瀬」を学ぼう！！』を設け、名勝及び天然記念物「長瀬」の地質学的な成り立ちや、指定の経緯、長瀬町の歴史などをわかりやすく紹介しました。また、展示パネルを利用したクイズや、長瀬を構成する岩石「結晶片岩」を見分けるクイズを実施し、博物館オリジナルカードを配布するなど、だれもが楽しみながら学べる内容としました。また、企画展にあわせて作成した長瀬に関連するオリジナルグッズ等の物販も行いました。参加者は270人でした。



写真1. ながとろ水まつりの様子

3. 名勝及び天然記念物「長瀬」指定100周年記念 特別講座

長瀬町教委委員会主催、当館を共催、実行委員会後援として、講座を3回にわたり開催しました。長瀬町文化財保護審議会委員の本間岳史氏（当館元館長：第1・3回）と村田嘉行氏（第2回）が講師を務めました。

講義と現地見学をセットにして行った講座は、長瀬についてより専門的に学びたい参加者に好評でした。

- ・第1回6月8日（土）『地球の窓「長瀬」を探る』
会場：長生館 参加者 54人
- ・第2回10月5日（土）『文人墨客が訪れた長瀬』
会場：長瀬町多世代ふれ愛ベース長瀬 参加者 38人
- ・第3回11月30日（土）『「日本地質学発祥の地」を訪ねる』会場：当館講堂 参加者 53人



写真2. 第3回『「日本地質学発祥の地」を訪ねる』の様子

4. 地質学の宝庫長瀬「地球の窓 長瀬」講演会

ふるさと長瀬を愛する会主催、実行委員会後援として、10月12日（土）に子供向けの講座「地球の窓長瀬ってなあーに！」を実施しました。当館の井上素子学芸主幹を講師として、当館科学教室において、結晶片岩を見分ける実習を交えながら、長瀬の成り立ちを紹介しました。

（かとう こういち・担当部長）